

管理され光が差す森林



地面に光を届けるための間伐



急な斜面での作業



森林組合の木材加工場

森や木に関心を持って
 厚木市森林組合 細野 潤さん
 組合では、市内の森林だけでなく県が管理する水源林の管理も請け負っています。枝打ちや間伐など、人が手を入れないと森は荒れていきます。山の木が循環するためには、木材の利活用が欠かせません。組合では、テーブルや椅子、まな板、まきなどを販売しています。皆さんにも手に取ってもらえたら嬉しいです。
《木材製品の販売場所》
 森林組合 ☎248-0005
 あつまるクラフト ☎240-1220

◆間伐材で作った積み木をプレゼント
対象 4月以降に子どもが生まれた家庭
受け取り 助産師や保育士などが家庭を訪問した際に引き換え券を配布。8月以降に厚木市まるごとショップ「あつまる」へ。
 ☎農業政策課 ☎225-2351

一人一人にできることがある
 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) の報告では「人間活動が大气・海洋および陸域を温暖化させてきたことは疑う余地がない」とされています。カーボンニュートラルを実現し、温暖化を食い止めるには、みんなで生活や経済活動を見直す必要があります。一人一人にできることは必ずあります。小まめに電源を切る、近くに出掛けるときはできるだけ自動車を使わないなど、小さなことでも構いません。まずは温暖化の現状を知り、自分の暮らしを見つめ直すことから始めてほしいと思います。

県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 堤 勝さん

地球温暖化防止に関する資料などを掲載 ▶ [全国地球温暖化防止活動推進センター](#) [検索](#)

CO₂の吸収量を増やす

森を再生して

森林は、CO₂を吸収する機能を備えています。カーボンニュートラルの実現には、森林をより良い状態にしていく必要があります。森林の手入れや、木材の利活用に取り組み、森林組合の活動を紹介します。



私たちにできること

特集 カーボンニュートラルを目指して

地球温暖化の原因となる二酸化炭素 (CO₂) は、私たちの生活や経済活動の中で多く排出されています。温暖化が進むと、大雨による災害の増加や海面の上昇など、暮らしに大きな影響を及ぼします。より良い未来のために、できることから始めてみませんか。

☎環境政策課 ☎225-2749

詳しくはこちら▼

厚木市 カーボンニュートラル [検索](#)

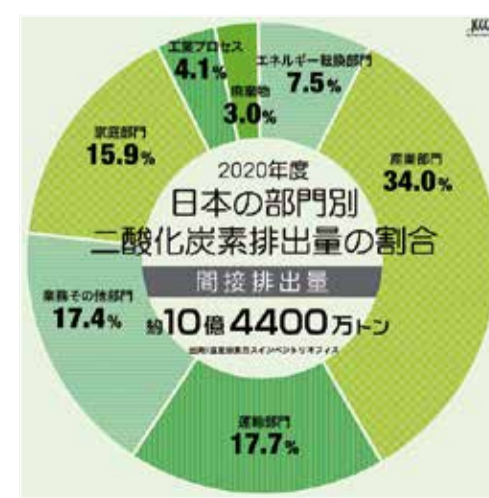
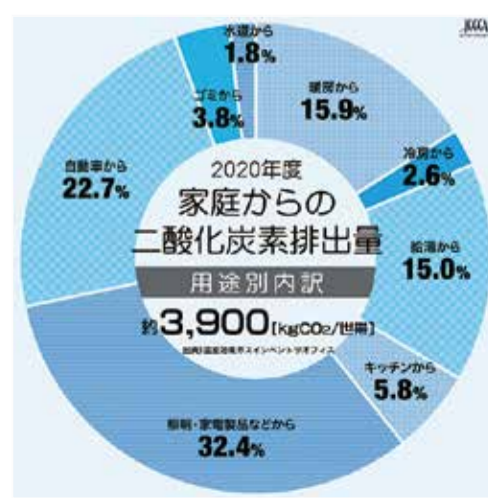
あつぎ 元気Wave
6/1~CATVで放送

SNSで活動を共有 #カーボンニュートラルあつぎ

企業や市民の皆さんの取り組みを、ツイッターやインスタグラムなどでハッシュタグを付けて投稿してください。市の情報も発信します。
☎環境政策課 ☎225-2749

地球温暖化が進むと ▶ 災害のリスクが高まる

地球の平均気温は、1850~2020年で約1℃上がりました。わずかな上昇で異常気象による災害が増えています。このまま何もしないと、2100年には世界の平均気温が最大5.7℃上がる想定です。



提供：全国地球温暖化防止活動推進センター



電気の使用状況をHEMSで管理

ゼロ・エネルギー・ハウスで生活

内田 基さん

市内で住宅を建てるときに、ゼロ・エネルギー・ハウスを選びました。設備にお金がかかるので家族と相談していたのですが、市などの助成があることが設置の後押しになりました。暮らし始めてみると、太陽光発電の売電などもあって家計的にも助かっています。アプリで家の中の電気の使用状況などが見られるのも便利です。楽しみながら環境にも優しい暮らしができたと思っています。



家庭でできるCO₂削減

- エネルギーを節約・転換**
 - 再生可能エネルギー由来の電気を契約
 - 節電(小まめに電源を切る、コンセントから抜く)
 - 家電製品を買い替える時は省エネ家電を選ぶ
 - 宅配ボックス設置など再配達の防止
- 省エネ住宅**
 - 太陽光発電、蓄電池などの導入
 - リフォームで窓や壁を断熱素材にする
- CO₂の少ない交通手段**
 - 徒歩や自転車、公共交通機関を利用
 - 電気自動車や燃料電池車などを利用
- 食品ロスを無くす**
 - 食べ残さない
 - 地元や国産の食材を選ぶ
- 長く着られる服を選び大切に使う**
- ごみを出さない工夫(分別・再利用・再生)**
- 環境保全活動への参加**

◆ゼロ・エネルギー・ハウス/スマートハウス導入奨励金
対象 市内の自宅に導入した方
補助額 ゼロ・エネルギー・ハウス※1=10万円
 太陽光発電=1㎡あたり1万円(上限6万円)
 蓄電池=5万円 HEMS※2=1万円
 家庭用燃料電池=5万円 など
 ※1 家庭で使うエネルギーを太陽光発電などで賄える住宅
 ※2 家でエネルギー使用状況を把握し最適化する設備

◆電気自動車推進事業補助金
対象 再生可能エネルギー由来の電気を契約または太陽光発電システムの電気を使う市内の家庭
購入補助額 1台20万円
 ☎いずれも環境政策課や市HPにある申請書と必要書類を直接または郵送で3月15日(必着)までに〒243-8511環境政策課へ。
 ☎環境政策課 ☎225-2749

家庭で CO₂の排出を減らす 企業で

CO₂は日常の多くの場面で排出されている一方、少しの工夫で減らせます。家庭や企業など、みんなができることを始めることで、大きな削減効果が期待できます。



工場内では再生可能エネルギー由来の電気を使用

製品を配送するEVトラック

◆中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金
対象 製造業を営む市内中小企業の事業主
補助額 対象経費の3分の2
上限金額 電気自動車・EV充電器=100万円
 LEDや空調など(省エネルギー診断に基づく物)=50万円
 ☎産業振興課や市HPにある概要書を、引き渡し前までに産業振興課へ。
 ☎産業振興課 ☎225-2830

◆自家消費型太陽光発電等導入費補助金
対象 市内の企業・団体・個人事務所など
補助額 自家消費型太陽光発電システム=1㎡あたり5万円(上限300万円)または経費の3分の1のいずれか低い額
 蓄電池=10万円
 ☎環境政策課や市HPにある申請書と必要書類を、着工前までに環境政策課へ。
 ☎環境政策課 ☎225-2749

再生可能エネルギーの電力を100%使用
 (株)トーモク厚木工場 工場長 伊藤 登さん

会社として2030年までにCO₂の排出を50%減らすことを目標に活動しています。電力は再生可能エネルギーで発電している事業者と契約し、工場などで使用しています。昨年8月には県の「かながわ再エネ電力利用事業者」にも市内で初めて認定されました。新しく導入したEVトラックもその電力で充電しています。企業も営利だけを求める時代ではありません。社員たちは毎日、会社周辺のごみ拾いを続けています。これからも、小さなことから一つ一つ積み重ねて、目標達成に向けて取り組んでいきます。